

第27回

公民館のつどい

～つなごうつどいの輪 広げよう交流の和～

公民館のつどい

福生市には三つの公民館があります。日常的に各公民館を利用しているサークルメンバーが一堂に会して、一年に一度「公民館のつどい」を開催しています。コースや習字、絵手紙などといった普段の活動を離れて、一日を他のサークルメンバーとの交流の場、話し合いの場、学習の場としています。ぜひご参加下さい。

公民館のつどい

公民館のつどいは、昭和57年に始まり、今回で27回目を迎えます。公民館を利用するサークルそれぞれが、自分たちの活動とは別に、ほかのサークルと交流すること、共に課題を考え合うことを目的に開催されています。公民館のつどいの趣旨は第1回目から受け継がれているのですが、27年経った今でも色あせてはいません。

昨年度のつどい

昨年度は、市内三館の各館の利用者から発表を行いました。それぞれ特色のあるユニークな活動を発表しました。その後、グループに分かれて交流を深めるためのワークショップを行いました。いずれのグループも活発に議論を行い、最後に報告会を行いました。時間が足りないという意見も出ましたが、学びを深めあった一日でした。

<公民館のつどい開催趣旨>

- 出会い、知り合い、交流していくために、各分野を越えた交流の場としていきたい
- 公民館で活動することの意味を考えていきたい
- 活動し、交流し合う中で、生活や地域の課題を共有化していきたい
- つどいがひとつのきっかけになって、後に横につながり合える場を持ち続けていきたい

※この趣旨は、第1回目から引き継がれています

今年度のつどい

今年は11月24日（月、祝）のつどい開催にむけて、現在、市民を主体として実行委員会を開き、さまざまな議論を重ねています。

今年のテーマは「つなごうつどいの輪 広げよう交流の和」です。実行委員会では、公民館三館の実情をふまえた発表とするために、各館の利用者が集まって結成されている「連絡会」「交流会」から発表団体を募集しました。各館それぞれ特色のある発表からサークルの意義、公民館で活動する意味、そして地域で活動することについて考えていく予定です。

この機会にぜひ公民館へ足をお運びください。

本館の発表内容

本館は利用者連絡会でこれまで本館利用者連絡会のきまり・公民館のサークルロッカー使用のきまり・ポスター掲示のきまりなどを作ってきました。こうした活動から現状の課題を考えます。

白梅の発表内容

今年実施された「白梅まつり」は、成功裏に終了しました。全サークルが参加し、役割を分担したためと思われませんが、その成功の原因を交流会の歴史などを振り返りながら探っていききたいと思います。

松林の発表内容

松林分館からは、ビーズサークルが発表を行います。普段の活動の中から、また、先日行われた「だれでもな」でも展で、体験コーナーを行った際に多くの方との交流を通して感じたことなどを発表する予定です。

